



平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成18年2月9日

上場会社名 理研ビタミン株式会社

(コード番号: 4526 東証第二部)

(URL <http://www.rike-vita.co.jp/>)

代表者 役職・氏名 代表取締役社長 堺 美保

問合せ先責任者 役職・氏名 取締役経理部長 山下 隆

TEL(03)5275-5111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 :有
(内 容) ・税金費用の計上基準……法定実効税率をベースとして計算しております。
・その他影響額が僅少なものにつき一部簡便的な手続きを用いております。
- ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 :無
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 :有
(内 容) 連結 (新規) 2社

2. 平成18年3月期第3四半期の財務・業績の概況 (平成17年4月1日～平成17年12月31日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況 (注)金額は百万円未満を切り捨てております。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
18年3月期第3四半期	60,009 (7.3)	3,758 (△ 9.9)	3,748 (△11.0)	2,502 (△ 8.0)
17年3月期第3四半期	55,938 (3.5)	4,172 (6.8)	4,211 (11.7)	2,718 (23.7)
(参考) 17年3月期	73,770	5,166	5,136	3,264

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	105 99	- -
17年3月期第3四半期	115 14	- -
(参考) 17年3月期	136 77	- -

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期(平成17年4月1日から平成17年12月31日まで)の売上高は、前年同期比40億70百万円増加し、600億9百万円となりました。

利益面では、市場競争激化のなかで付加価値型の新製品の上市に努める一方、購入原料の見直し等のローコストプロダクションを推進いたしました。原油高や円安による原材料費の上昇、千葉工場の粉体設備の更新や草加工場の新調味料設備の新設等による減価償却費の増加、新製品拡販のための広告宣伝費や販売促進費の増加等により、営業利益は37億58百万円、経常利益は37億48百万円、当第3四半期純利益は25億2百万円となりました。

セグメント別の概況

食品事業部門

家庭用食品では、ドレッシング類は新製品の「セレクトイー胡麻」の貢献も寄与し、売上が大きく伸長しました。わかめ関連製品は、「生めかぶ」の品揃えによる拡販、「わかめスープ」のお徳用タイプの品揃えやリニューアル効果もあり、順調に売上を伸長させることができました。

この結果、家庭用食品の売上高は149億98百万円(前年同期比 6.3%増)となりました。

業務用食品では、ドレッシング類は「香り胡麻ドレッシング」が好調に推移し、売上を伸長させることができました。また、わかめ関連製品は、「冷凍めかぶ」が順調に推移いたしました。

この結果、業務用食品の売上高は 87億88百万円(前年同期比 0.8%増)となりました。

加工食品用原料では、外食及び中食向けの「粉末調味料」や「液体調味料」が積極的なメニュー提案により、順調に売上を伸長させることができました。食品素材関連では、「餡(あん)製品」が順調に推移いたしました。また、海外では、青島福生食品有限公司の米国向け水産加工品の販売拡大や冷凍野菜の回復が貢献し、売上を大きく伸長させることができました。

この結果、加工食品用原料の売上高は146億48百万円(前年同期比 17.3%増)となりました。

食品用改良剤では、加工食品業界は競合が一段と激化するなか、豆腐用改良剤等の育成強化、拡販に努めた結果、順調に売上を伸ばしました。また、海外では、昨年7月より営業活動を開始した理研維他精化食品工業(上海)有限公司等積極的な海外拠点の拡充や欧米およびアジア市場などで新規需要開拓を進めた結果、順調に推移いたしました。

この結果、食品用改良剤の売上高は125億74百万円(前年同期比 7.2%増)となりました。

これらの結果、当食品事業部門の売上高は 510億10百万円(前年同期比 8.4%増)となりました。

化成品事業部門

化成品事業部門では、国内向けは新規拡販に努め、食品ラップ用添加剤、電子分野向けの離型剤が伸長いたしました。海外向けは、欧米や中国での市場開拓が進み、プラスチック用添加剤を中心に順調に推移いたしました。これらの結果、当化成品事業部門の売上高は44億14百万円(前年同期比 9.3%増)となりました。

ビタミン・その他事業部門

ビタミン類は、「食品用のビタミン」が新規拡販により伸長しましたが、「医薬用のビタミン」は、価格攻勢による競争激化等により苦戦を強いられ、全体では売上が減少いたしました。

その他電子精密部品関係は、得意な分野での市場ニーズに適合した製品開発による拡販に努めましたが、売上は減少いたしました。

これらの結果、当ビタミン・その他事業部門の売上高は45億85百万円(前年同期比 5.5%減)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	94,194	57,653	61.2	2,441 83
17年3月期第3四半期	81,928	52,550	64.1	2,225 58
(参考) 17年3月期	80,003	52,956	66.2	2,241 34

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて141億91百万円増加して、941億94百万円となりました。

株主資本は、前連結会計年度末に比べて46億97百万円増加して576億53百万円となりました。この結果、株主資本比率は61.2%と、前連結会計年度末に比べて5.0%減少しました。

○添付資料 (要約)四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書、等

[参 考]

平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	79,000	4,250	3,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 125円60銭

[連結業績予想について]

(修正の理由)

売上については順調に推移しているものの、円安による原材料費の上昇やエネルギー費等の増加などによる製造コストの上昇が見込まれ、また、2月発売予定の新製品「ノンオイル」(マヨネーズタイプ調味料)の広告宣伝費の投入等により、通期業績予想の数値を修正することとしました。

※本資料における予想は、現時点において想定できる経済情勢、市場動向や事業環境などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因変化により予想と実際の業績が異なる可能性があります。

【添付資料】

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

期 別 科 目	当四半期 (平成18年3月期第3四半期末)		前年同四半期 (平成17年3月期第3四半期末)		増 減	(参考)前連結会計年度末 (平成17年3月期)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資 産 の 部)	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円	%
I 流 動 資 産	47,948	50.9	45,574	55.6	2,374	42,911	53.6
現金及び預金	9,664		10,836		△ 1,172	10,891	
受取手形及び売掛金	21,103		20,295		808	18,021	
た な 卸 資 産	13,025		10,313		2,711	10,191	
そ の 他	4,156		4,129		26	3,807	
II 固 定 資 産	46,245	49.1	36,353	44.4	9,891	37,092	46.4
有 形 固 定 資 産	26,803		22,107		4,696	22,301	
無 形 固 定 資 産	859		807		52	800	
投資その他の資産	18,582		13,439		5,143	13,990	
資 産 合 計	94,194	100.0	81,928	100.0	12,266	80,003	100.0
(負 債 の 部)							
I 流 動 負 債	29,358	31.2	23,910	29.2	5,447	21,469	26.8
支払手形及び買掛金	10,895		9,652		1,243	8,177	
短 期 借 入 金	8,682		5,109		3,572	4,915	
未 払 費 用	4,294		4,272		22	3,816	
そ の 他	5,486		4,876		609	4,559	
II 固 定 負 債	6,865	7.3	5,228	6.4	1,637	5,347	6.7
長 期 借 入 金	563		891		△ 327	869	
そ の 他	6,301		4,336		1,964	4,477	
負 債 合 計	36,223	38.5	29,138	35.6	7,084	26,816	33.5
(少数株主持分)							
少 数 株 主 持 分	316	0.3	239	0.3	77	230	0.3
(資 本 の 部)							
I 資 本 金	2,537	2.7	2,537	3.1	-	2,537	3.2
II 資 本 剰 余 金	2,466	2.6	2,466	3.0	-	2,466	3.1
III 利 益 剰 余 金	45,707	48.5	43,538	53.1	2,168	44,084	55.1
IV その他有価証券評価差額金	6,956	7.4	4,468	5.5	2,488	4,550	5.7
V 為替換算調整勘定	44	0.1	△405	△ 0.5	449	△625	△ 0.8
VI 自 己 株 式	△58	△ 0.1	△55	△ 0.1	△ 3	△56	△ 0.1
資 本 合 計	57,653	61.2	52,550	64.1	5,103	52,956	66.2
負債、少数株主持分及び資本合計	94,194	100.0	81,928	100.0	12,266	80,003	100.0

2. (要約)四半期連結損益計算書

期 別 科 目	当四半期 (平成18年3月期第3四半期)		前年同四半期 (平成17年3月期第3四半期)		増 減	(参考) 平成17年3月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円	%
I 売 上 高	60,009	100.0	55,938	100.0	4,070	73,770	100.0
II 売 上 原 価	40,490	67.5	37,302	66.7	3,188	49,585	67.2
売 上 総 利 益	19,518	32.5	18,635	33.3	882	24,184	32.8
III 販売費及び一般管理費	15,759	26.2	14,462	25.8	1,296	19,018	25.8
営 業 利 益	3,758	6.3	4,172	7.5	△414	5,166	7.0
IV 営 業 外 収 益	355	0.6	245	0.4	110	277	0.4
受取利息・受取配当金	207		159		48	173	
そ の 他	147		85		61	104	
V 営 業 外 費 用	365	0.6	206	0.4	158	307	0.4
支 払 利 息	204		170		33	239	
そ の 他	160		36		124	67	
経 常 利 益	3,748	6.3	4,211	7.5	△462	5,136	7.0
VI 特 別 利 益	2	0.0	-	-	2	-	-
VII 特 別 損 失	53	0.1	61	0.1	△7	104	0.2
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,696	6.2	4,149	7.4	△452	5,032	6.8
税 金 費 用	1,231	2.1	1,428	2.5	△196	1,771	2.4
少数株主損益(損失は△)	△37	△ 0.1	2	0.0	△39	△3	△ 0.0
四半期(当期)純利益	2,502	4.2	2,718	4.9	△216	3,264	4.4

3. 販売の状況

期 別 事業セグメント	当四半期	前年同四半期	増減率
	百万円	百万円	%
食 品 事 業	51,010	47,045	8.4
家庭用食品	14,998	14,108	6.3
業務用食品	8,788	8,715	0.8
加工食品用原料	14,648	12,491	17.3
食品用改良剤	12,574	11,729	7.2
化 成 品 事 業	4,414	4,038	9.3
ビタミンその他事業	4,585	4,854	△5.5
合 計	60,009	55,938	7.3

4.事業の種類別セグメント情報

当四半期(自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)

(百万円未満切捨て)

	食 品 事 業	化成品 事 業	ビタミン・ その他事業	計	消去又は 全 社	連 結
I.売上高及び営業損益	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	51,010	4,414	4,585	60,009	—	60,009
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	51,010	4,414	4,585	60,009	—	60,009
営 業 費 用	48,176	4,126	3,947	56,250	(—)	56,250
営 業 利 益	2,833	287	637	3,758	(—)	3,758

前年同四半期(自 平成16年4月1日 至 平成16年12月31日)

(百万円未満切捨て)

	食 品 事 業	化成品 事 業	ビタミン・ その他事業	計	消去又は 全 社	連 結
I.売上高及び営業損益	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	47,045	4,038	4,854	55,938	—	55,938
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	47,045	4,038	4,854	55,938	—	55,938
営 業 費 用	44,030	3,731	4,003	51,765	(—)	51,765
営 業 利 益	3,015	307	850	4,172	(—)	4,172

(参考)前連結会計年度(自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

(百万円未満切捨て)

	食 品 事 業	化成品 事 業	ビタミン・ その他事業	計	消去又は 全 社	連 結
I.売上高及び営業損益	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	61,968	5,395	6,406	73,770	—	73,770
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	61,968	5,395	6,406	73,770	—	73,770
営 業 費 用	58,253	4,982	5,368	68,604	(—)	68,604
営 業 利 益	3,714	412	1,038	5,166	(—)	5,166

注) 1.事業区分は売上集計区分によっております。

2.各事業区分の主要製品

事業区分	事業内容	主 な 製 品 群
食 品 事 業	家 庭 用 食 品 業 務 用 食 品 加 工 食 品 用 原 料 食 品 用 改 良 剤	ドレッシング、わかめ製品、レトルト食品、和風調味料 わかめ製品、調味料、レトルト食品、ドレッシング、たれ・ソース類 エキス・調味料類、麺用スープ、健康食品、わかめ製品、農水産加工品、餡製品 食品用改良剤、食品用乳化剤、天然色素
化成品事業	化 成 品	工業用改良剤、滑剤、流滴剤、防曇剤
ビタミン・ その他事業	ビ タ ミ ン 類 精 密 部 品 其 他	医薬・化粧用・食品用ビタミン、工業用薬品、飼料添加物 電気・電子機器の精密部品、飼料用油脂